

第28回日本臨床毛髪学会学術集会

秋は毛活

スポンサードセミナー

未来可能性で考える男性型脱毛症治療： 細胞外小胞から LED まで

開催日時 2023 年 10月 22日(日) 9:15~10:15

会場 アクトシティ浜松コンgresセンター
4F 41 会議室

座 長

浜松医科大学皮膚科学講座 准教授・
病院教授

伊藤 泰介先生

演 者

大阪大学大学院医学系研究科
皮膚・毛髪再生医学(アデランス)寄附講座
特任教授

乾 重樹先生



伊藤 泰介先生

【略歷】

【所属学会】

日本皮膚科学会(代議員)、日本皮膚科心身医学会(評議員)、
日本研究皮膚科学会(評議員)、欧州研究皮膚科学会、
日本免疫学会、日本皮膚免疫アレルギー学会(評議員)、
日本小児皮膚科学会(運営委員)、日本臨床皮膚科医会、
日本皮膚悪性腫瘍学会、日本毛髪科学協会(理事)、
毛髪科学研究会(世話人)、日本乾癬学会、
日本美容皮膚科学会(評議員)、日本瘡癤学会

MEMO

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.



演 者

大阪大学大学院医学系研究科
皮膚・毛髪再生医学(アデランス) 寄附講座
特任教授

乾 重樹先生

未来可能性で考える男性型脱毛症治療： 細胞外小胞からLEDまで

男性型脱毛症治療の未来可能性への基礎研究として毛包再生ツールとしての細胞外小胞(EV)について報告する。EVは細胞から分泌される脂質二重膜に覆われた小胞であり、蛋白質や核酸、脂質など種々の内容物を含み、パラクライン因子として細胞間のコミュニケーションに働く。毛髪再生へEVが応用できる可能性を調べるため、毛包誘導能を維持している毛乳頭細胞(DPC)スフェロイドから採取したEV(DPC-EV)を脂肪由来幹細胞(ASC)に添加してその作用を調べた。その結果、DPC-EVはASCの増殖を促進するとともにDPC様細胞へ分化させることがわかった。特にDPC-EVは毛包誘導に重要なWnt/beta-catenin経路を活性化するmiRNAを含有していた。以上より余剰脂肪組織から採取できるASCを用いた毛髪再生医療においてDPC-EVが未来のツールとなる可能性が示唆された。また従来から検索しているLEDの男性型脱毛症への効果やざ瘡などの皮膚疾患への効果についても紹介する。

略 歴 等

【略歴】

1991年 大阪大学医学部医学科卒業、医師免許取得
1991年 大阪大学医学部皮膚科学教室入局
1992年 大阪労災病院皮膚科医員
1993年 大阪大学大学院医学研究科入学
(皮膚科学・生化学専攻)
1996-8年 米国留学(ウイスコンシン大学、ロチェスター大学)
この間、1997年 大阪大学大学院博士課程修了、学位取得
1999年 大阪大学医学部皮膚科学教室医員
2000年 大阪大学医学部皮膚科学教室助手
2006年- 大阪大学医学部皮膚・毛髪再生医学寄附講座
准教授(附属病院皮膚科兼任)
2016年- 心斎橋いぬい皮フ科院長
2016-8年 大阪大学大学院医学系研究科皮膚科学講座招聘教授
2018年- 大阪大学医学部皮膚・
毛髪再生医学寄附講座特任教授

【専門医資格】

日本皮膚科学会専門医、日本アレルギー学会専門医・指導医、
日本抗加齢医学会専門医、日本化粧品医療学会専門医

【学会役職など】

日本臨床毛髪学会理事長、日本毛髪科学協会副理事長(資格審査

委員会委員長、中長期事業計画委員会委員)、日本美容皮膚科学会
理事(倫理委員会委員長、機関誌広告に関する委員会委員長、学術
教育委員会委員、機関誌編集委員会委員)、毛髪科学研究会世話
人、日本研究皮膚科学会評議員、日本抗加齢医学会評議員(臨床研
究促進委員会委員)、日本皮膚免疫アレルギー学会評議員(広報委
員会委員)、日本褥瘡学会評議員、日本化粧品療法学会評議員

【受賞】

第3回国際毛髪科学学会, Oral Presentation Award, 2001,
第27回日本接触皮膚炎学会学術大会 ポスター賞2002,
JSID Shiseido Fellowship Award, 2003.
第4回ガルデルマ賞, 2003. 第24回日本美容皮膚科学会
アイデアアンドイノベーション賞, 2006,
第107回日本皮膚科学会総会 ポスター賞, 2008,
第8回日本抗加齢医学会総会 奨励賞, 2008,
第72回日本皮膚科学会東部支部総会 会長賞, 2008,
平成22年度日本皮膚科学会雑誌論文賞
(The Journal of Dermatology), 2010,
F1000Prime AFM Travel Grant 2013, JD Award, Most
Downloaded Articles in 2013,
第14回日本抗加齢医学会総会プレナリー賞, 2014,
第33回日本美容皮膚科学会優秀演題賞, 2015.

Aderans

